

### KBC杯高校ハンド

ハンドボールの第13回KBC学園杯争奪第47回県高校春季選手権(主催・県ハンドボール協会、共催・KBC学園、沖縄タイムス社、

県高体連)最終日は19日、沖縄市体育館で男女決勝を行った。男子は北中城が那覇西を21-19で破り、初優勝した。女子は浦添が那覇西に終了間際の得点で25-24と勝ち越して2連覇を飾った。  
3位決定戦は男子が那覇国際、女子は首里が勝った。男女上位3

校と、全国高校選抜大会(24~29日、男子=愛知県、女子=岐阜県)に出場する男子興南、女子コザを合わせた男女各4校が県高校総体のシード権を獲得した。  
【男子】  
▽3位決定戦  
那覇国際 26(10-8)21 美里

▽決勝  
北中城 21(10-8)19 那覇西  
【女子】  
▽3位決定戦  
首里 26(15-11)18 那覇国際  
▽決勝  
浦添 25(14-8)24 那覇西

# 北中城逆転 初の栄冠



## 粘り強い守り徹底

### ハイライト

男子は北中城がこの1年間ずっと勝てていなかった那覇西の壁を21-19と逆転で乗り越え、この大会初の頂点をつかんだ。序盤先行されたものの、工藤晏琉や比嘉優陽らの連続得点で前半20分過ぎに逆転。2点リードで迎えた後半は退場者を出すピンチが2度もあったが、粘り強い守備を最後まで徹底した。  
左膝負傷から約1年ぶりに復帰した大城佳吾主将は守備要員として出場。周囲と連携して那覇西の猛攻を止めた。「ずっと負けていて悔しかっ

た。とにかくうれしい」と念願の優勝をかみしめた。  
攻撃は徳田柁二と新垣翔、工藤が4得点ずつ奪うなど、左右どこからでも幅広く得点を重ねた。徳田は練習してきたブラインドシュートを2本決めた。  
左サイドの比嘉は角度のない位置からチーム最多の6得点でけん引し、止められたシュートは1本だけという高確率だった。安慶田中1年で競技を始め、初の県制覇。チームに上昇気流の勢いを感じている。最終学年に向け「那覇西にまた勝って、興南に挑みたい」と県王者超えを見据えた。(溝井洋輔)



⑤男子決勝 北中城-那覇西 後半5分、2点差にリードを広げるチーム12点目のスピンシュートを左サイドから決める北中城の比嘉優陽＝沖縄市体育館(溝井洋輔撮影) ⑥男子初優勝の北中城

## 浦添連覇 激闘制す 終了間際 新垣殊勲ゴール

女子は浦添が那覇西とのシーズンゲームを終了間際に25-24と勝ち越して激闘を制した。  
前半を14-16で折り返した後も一進一退の攻防が続き、後半20分過ぎに同点。残り数秒となったところで比嘉菜々美主将のパスカットから速攻を仕掛け、最後は新垣陽咲がゴール右隅に勝利を決めるシュートをたたき込んだ。  
浦添の攻撃は那覇西GK志良堂心優の好捕に何度も阻まれた。それでも比嘉は「得点できないときでも練習してきたことを信じて攻

める姿勢を貫いた」と、前向きな姿勢を勝因に挙げた。GK仲西涼夏も「チームメートが声をかけ合って雰囲気落とさず戦えた」と諦めぬ姿勢を誇った。  
浦添は1月に千葉県を訪れ、昨年の全国総体で優勝した昭和学院と強化試合を組んだ。2月の九州大会は5位決定戦で延長の末に敗れ全国切符を逃したが、再び全国を目指している。左サイドから要所で4得点した松田奈々は「まずは県総体でコザを倒し全国で優勝したい」と目標を語った。



⑦女子決勝 浦添-那覇西 後半終了間際、優勝を決める25点目のシュートを決める浦添の新垣陽咲(山中) ⑧女子2連覇の浦添

